

総合職試験・一般職試験(大卒程度試験)・  
障害者(係員級)採用試験(大卒程度試験)共通 社会学

問1 次の(1)～(5)の概念を、具体的な例もあげつつ簡潔に説明しなさい。

- (1) 夫婦家族制
- (2) スティグマ
- (3) インナーシティ問題
- (4) アノミー的自殺
- (5) アナウンスメント効果

問2 社会調査に関して、次の(1)～(5)の問いに答えなさい。

- (1) 量的調査におけるデータの傾向を表現するための代表値である、平均値、最頻値、中央値に関し、各々説明しなさい。また、外れ値とはどのようなものであり、先の3つの代表値のうち、どれに影響をあたえることが多いか、説明しなさい。
- (2) 社会調査において、a. 黙従傾向とはどのようなことをさすか説明しなさい。b. また、調査票調査で、「自動車運転初心者には交通法規を順守してもらうためには警察の厳しい取り締まりが重要である」という意見の賛否について問いたい場合、どのような工夫をすれば黙従傾向を避けられると考えられるか、具体的な例を考えて記しなさい。
- (3) 資料分析におけるパーソナル・ドキュメントとして具体的にどのようなものをあげることができるか、また、それらから得られる知見はどのような意義を有すると考えられるか、説明しなさい。
- (4) 近年、大量の文書データをコンピュータで読み込んで分析するテキストマイニングという方法が進展してきている。テキストマイニングの分析内容としてどのようなことが例示できるか、また、人間が文書を解読する従来の方式と比較してどのような利点があるか、説明しなさい。

(5) 架空データとして、ある自治体において災害発生時の対策について賛否を問い、年齢層ごとに集計してみると表1のようになり、これに自治体内の地区別の要因を加えて集計したところ、表2のようになった。表1から読み取れること、表2から読み取れることを各々述べなさい。また、表1から表2のように分析を進めることを何というか、記しなさい。

表1 災害発生時の対策への  
年齢層ごとの意見  
(人)

年齢層	災害発生時の対策		
	賛成	反対	合計
若年層	155	95	250
高齢層	185	65	250

表2 災害発生時の対策への年齢層ごとの意見  
【居住地区ごとの統制あり】  
(人)

居住地区	年齢層	災害発生時の対策		
		賛成	反対	合計
A地区	若年層	75	75	150
	高齢層	25	25	50
B地区	若年層	80	20	100
	高齢層	160	40	200

問3 現代社会における「ワーク・ライフ・バランス」の動向に関して、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) 「ワーク・ライフ・バランス」とはどのような意味であるか、また、その達成のために具体的にどのような諸施策がなされているか説明しなさい。
- (2) 「ワーク・ライフ・バランス」の施策をとることを通じて、組織側にはどのようなメリットが想定されるか、他方で、組織での施策の浸透にどのような困難さがあると考えられるか、論じなさい。
- (3) 「ワーク・ライフ・バランス」の施策が「少子化問題」への対策の一方法として論じられることがあるが、これらはどのような関係にあるか、また、「少子化問題」への対策として効果的な変化を企図して進める場合の課題はどのような点にあるかを論じなさい。